

矢作川圏域大規模氾濫減災総合協議会

議事概要

日時：令和元年 5 月 23 日（水）10：00～11：30

場所：西三河建設事務所 10 階 大会議室

■議題

1. 【気象概況】

- 1) 平成 30 年 気象概況 <名古屋地方気象台>
- 2) 平成 30 年 9 月末 台風 24 号 矢作川出水概要<豊橋河川事務所>

2. 【矢作川水防災協議会】<豊橋河川事務所>

- 1) 矢作川水防災協議会 規約改定
- 2) 「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく矢作川の減災に係る取組方針の改定について
- 3) 取組方針のフォローアップについて

3. 【矢作川洪水予報連絡会】・【矢作川水防連絡会】<豊橋河川事務所>

- 1) 平成 30 年度 事業報告、令和元年度 事業計画（案）について
- 2) 規約及び役員名簿について
- 3) 重要水防箇所の変更箇所について

4. 【矢作川圏域水防災協議会】<愛知県>

- 1) 矢作川圏域水防災協議会 規約の改正（案）について
- 2) 矢作川圏域水防災協議会 取組方針の変更（案）について
- 3) 出水期前の体制確認について
- 4) 取組方針フォローアップについて
- 5) 今後のスケジュールについて

■協議結果

【気象概要について】

平成 30 年度の気象概要及び台風 24 号出水概要について説明した。

【矢作川水防災協議会について】

「平成 30 年 7 月豪雨」を受けて、1 月に「緊急行動計画」が改定された。これを踏ま

え、規約、取組方針の改訂について確認し、了承を得た。

【矢作洪水予報連絡会・矢作川水防連絡会について】

事業報告、今年度の事業計画案並びに役員名簿の変更、あわせて、重要水防箇所の変更を説明し、了承を得た。

【矢作川圏域水防災協議会について】

「緊急行動計画」の改定を踏まえた、規約の改正及び取組方針の変更を確認し、了承を得た。

出水期前の体制確認と取組方針のフォローアップについて、各構成員と情報共有を行った。

【各機関の取組報告について】

岡崎市、碧南市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、幸田町より、令和元年度の取組内容について説明があった。

■主な発言（発言順）

＜岡崎市＞

- ① 現在公表されている矢作川想定最大規模の浸水想定区域図より、本市においても市街地にて大規模な浸水が想定されており、改めて本協議会の取組の重要性を再認識している。本市では今年度洪水ハザードマップの更新を予定しているため、国及び県においては、想定区域図のデータの提供をお願いしたい。
- ② 矢作川の洪水を未然に防ぐ対策としては、堤防補強工事が進められており、広田川、砂川においては今年度より大規模特定河川事業として再委託した。今後も引き続き確実な予算会合に繋がるような、上下流のバランスを考慮した早期の河川整備を進めてほしい。

＜碧南市＞

- ① 今年度については、平成 29 年 5 月に市民へ全戸配布を行いました最大規模想定
の洪水・高潮ハザードマップの内容を、出前講座等を通して市民へ継続的に周知
していき、市民の防災意識向上や防災力向上に努めていくとともに、新たな災害
対策ツールとして、緊急速報メールの配信を導入し、より多くの市民へ災害情報
を発信し、命を守る行動を促していきたいと考えている。
- ② 6 月頃からは、市民がとるべき行動を 5 段階に分け、情報と行動の対応を明確化
することを目的に、警戒レベルでの情報発信が導入されるため、碧南市としても
内容の周知を図ると共に、市民にとって分かりやすい情報伝達を心掛けていく。

- ③ 災害対策については、碧南市単独で行えるものばかりではないため、今後とも、国・県・近隣の自治体と連携・協力をもって、推進していきたい。

<豊田市>

- ① 気象庁からの警戒レベルにおいて、5段階区分の変更を市民に共有する手段が課題として挙げられる。また、警戒レベル4の扱いについて、特に避難勧告・避難指示の分岐点の整理がついていないため、引き続きご指導頂きたい。
- ② 矢作ダム再生事業を早期に進め、中流域の堤防整備などの河川改修事業費などを今以上に確保して頂き、更なる河川整備促進をお願いしたい。
- ③ 鵜の首の狭窄部の解消に付いては、下流の整備バランスを考慮するため時間がかかるが、市民の関心も非常に高いため、早期の事業策定をお願いしたい。
- ④ 今後も水害対策についての市民啓発や地域の避難訓練を始め、市が実施するソフトハード対策などの様々な取組において国・県との連携・支援をお願いしたい。

<安城市>

- ① 今年度は、矢作川沿川の地区で手づくりハザードマップを作成する。この活動を通して、平時より災害リスクや避難行動について把握し、地域のリーダーを中心とした避難計画の作成や避難訓練等を行い、地域の防災力を高め、災害時には自らの判断で適切に避難行動をとり、行政はそれを全力で支援するという住民主体の取組強化による防災意識の高い社会を構築していきたいと考えている。
- ② 水防訓練についても、市、消防署、消防団及び自主防災組織が連携した、実践的な水防訓練を計画・実施してきた。今年6月に実施する訓練は、行政無線を使用した情報伝達訓練、消防団員による広報車巡回訓練、自主防災組織と消防団員が要配慮者宅を訪問し、避難補助を行う避難誘導訓練、参加者全員で土のうの作成及び積み工法訓練等を実施する予定で、このような取組を通して、顔の見える密接な関係を構築するとともに、水防知識や技術の向上を図っていく。
- ③ 昨年、国土交通省豊橋河川事務所及び愛知県河川課の協力より、避難確保計画の作成における説明会と支援会を開催することができた。現時点で、ほぼ全対象施設で作成に向けた取り組みをしている。要配慮者が安全に避難できるよう、市としても引き続き支援、指導をしていきたい。

<西尾市>

- ① 西尾市では、昨年の台風接近時にタイムラインを活用した市民への周知を実施した。自然災害は想定を超えることもあり、矢作川流域の市町全体で常日頃から水防意識を向上させる必要があるため、ハード面の整備のみならず、タイムライン、ハザードマップ等ソフト面でも検討、改善し、円滑かつ迅速な避難、的確な水防活動が行われることで、「逃げ遅れゼロ」を目指したい。

- ② 志貴野地区河川防災ステーションについて、平成 30 年 3 月に登録され、今年度、本市が水防センター及びポンプ車庫の建設工事を進めているが、整備を着実に進めていただきたい。

<知立市>

- ① 昨年 9 月 4 日の台風 21 号では知立市内の 2 級河川猿渡川の護岸が崩壊する災害が発生した。ハード対策としての河川改修、老朽化対策は重要な課題であり、自然環境の変化による台風や大雨の増加など懸念される中で、市民が安心・安全に暮らす防災環境整備のためにも、早急に解決しなければならない課題と考えている。
- ② ソフト対策として、矢作川の想定最大規模の浸水想定区域が公表され、今年度作成予定の、知立市内の 2 級河川の想定最大規模の浸水想定区域の結果を受け、ハザードマップの更新を行い、水害に対する市民の危機意識向上のために活用していきたい。

<高浜市>

- ① 高浜川水系の高浜川・稗田川の浸水予想図を L 2 想定へ見直し・作成され次第、ハザードマップを作成して、住民への周知を図っていく。
- ② 危機管理水位計については、稗田川沿いに 1 基取り付けて頂き、これにより水位監視が効率的に行えるため、災害対応に積極的に活用していきたいと思う。
- ③ 本市では、矢作川の洪水情報を「高浜市防災メール」と連携させており、避難確保計画を作成した要配慮者利用施設向けに、洪水情報を自動配信されるよう設定した。
- ④ しかし、洪水予報河川等の大規模な河川よりも、市民にとって災害の危険のある身近な河川がたくさんあるのが実態であるため、今回設置する危機管理水位計の洪水情報についても市民や施設管理者に対して、矢作川と同様に、プッシュ型の情報配信が市民にとって大変有益だと思うので、是非検討をお願いしたい。

<幸田町>

- ① 本年度より、広田川に計画されている「菱池遊水地」の整備について、大規模特定河川事業による新規事業化されることとなった。愛知県の事業ではあるが、幸田町としても地元対応など、事業が推進されるようなサポートを考えている。
- ② 本町では、県により広田川および相見川に危機管理型水位計を設置していただき、運用開始を待っている。この水位計を十分に活用して、町の防災体制の充実を図っていきたいと考えている。これらの施策により、町を含めた流域全体の治水安全度の向上、防災力の強化が早期に図られるよう、町としてもしっかり対応していきたい。

以上